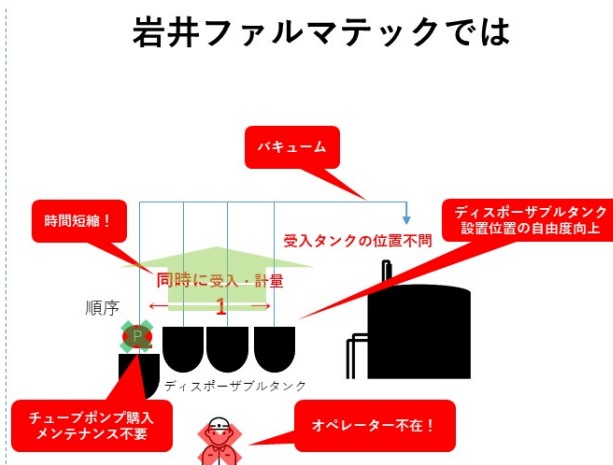
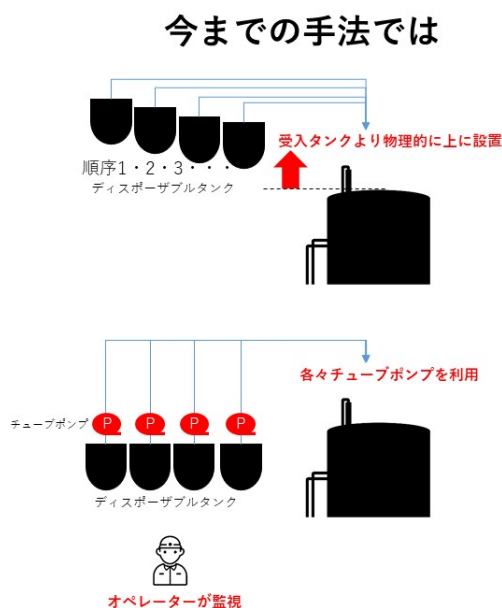


配信日：2020年04月23日

新型コロナウイルス感染症が日々深刻化している中、罹患された方、および関係者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます

こんにちは、岩井ファルマテックのメールマガジン【Iwai Pharma Tech通信】です！
春になり、歩いて5分で海がある地域に住む私には鯛やシラスなどの魚が旬で美味しい季節がやってきました。
春の魚は美味しいものが多く、調理方法も様々でとても魅力的ですね。
お正月では、お餅の食べ過ぎで体重の増加をカミングアウトしましたが、
まだまだ私の体重は増加の一方となりそうです。

今月号は、岩井ファルマテックの 旬 な医薬製造プロセス向け技術について紹介します。



◆真空引き計量の困りごと！？

液体製剤調製品の製造プロセスでは、最終製品完成まで複数の工程を経る事が多く、
その際、効率的に移送・計量する事が求められます。

実際に、ディスポーザブルタンクから調製タンク等に原料を移送・計量する際は、
チューブポンプを利用して、送液と計量を行う事が一般的です。
この方法では、以下に挙げる課題が存在し、これらは製造現場において早急な解決が求められております。

- ・タンクへの原料移送に非常に時間がかかる。
- ・同時に計量できるディスポーザブルタンクはチューブポンプの台数に制限される
- ・チューブポンプの購入・オーバーホールが必要になる
- ・作業時間が長期にわたる
- ・オペレーターの常駐が必要

岩井ファルマテックでは、これらの課題を全て解決可能な技術を提供します！

[その他当社の技術はここをクリック](#)

◆なぜ岩井ファルマテックの技術ではそれが可能なのか

ポイントはバキューム計量と制御技術の組み合わせにあります

理由 そもそも従来は、バキューム計量（真空引き）と云う発想自体がありませんでした。

岩井ファルマテックはバキューム計量に着目し、さらに長年に渡り培ってきた制御ノウハウと組み合わせること、高効率な液の受け入れシステムの構築に成功致しました。

ハードの面では、ディスポーザブルタンクを設置するだけで、複数のディスポーザブルタンクから同時に液を受入できる点が特徴です。システム導入によるメリットを以下に挙げます。

メリット ・チューブポンプが不要（省設備化）
・ディスポーザブルタンクを受入タンクより上位にする必要がない（配置の自由度向上）
・複数ディスポーザブルタンクから同時に移送できる（時短）

配置の自由度が高く省設備化・さらに処理の時短可能な本技術が、医薬品製造現場の新たなスタンダードとなる事を確信しております。

▼お問い合わせはコチラから <http://www.iwai-pt.co.jp/contact/>

焼き魚、お刺身、煮つけなど、お魚は美味しいお料理の宝庫ですよね。機会があれば、皆さんのおススメを教えてください。

●「IPT通信」に掲載された記事又は画像を許可なく転載することを禁じます。

Copyright by IWAI PHARMATECH Co., Ltd. 2019

★★当社におきましては、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大に伴い、従業員および関係者の皆様の安全を最優先し、更なる拡大を防止するため、以下HPに掲載の通り、在宅勤務を実施しております。つきましては通常時より対応に時間を要する場合がございます点、何卒 ご容赦ください。



**発行元 岩井ファルマテック株式会社
メルマガチーム**

岩井ファルマテック株式会社
〒144-0033 東京都大田区東糀谷3-17-10
TEL : 03-5737-7171
FAX : 03-5737-7172
<http://www.iwai-pt.co.jp>